

# 音楽科学習指導案

金沢大学附属中学校 鏡千佳子

## 1 題材の目標

- (1) 「交響曲第5番ハ短調」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。
- (2) 「交響曲第5番ハ短調」を形づくっている、リズム、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲に対する評価とその根拠を考え、「交響曲第5番」のよさや美しさを味わって聴く。
- (3) リズムや構成の違いによって生み出される雰囲気や曲全体の構造に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かにする。

## 2 本題材で扱う学習指導要領の内容

### 第2学年及び第3学年 B鑑賞(1)鑑賞

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠

イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること

(ア) 曲想と音楽の構造との関わり

### 〔共通事項〕(1)

(本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「リズム」「構成」)

## 3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「交響曲第5番」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	「交響曲第5番」を形づくっている、リズム、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲に対する評価とその根拠を考え、「交響曲第5番」のよさや美しさを味わって聴いている。	リズムや構成の違いによって生み出される雰囲気や曲全体の構造に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 指導の計画（総時数2時間）

第1時 ベートーヴェンのしかけを他の芸術と関連づけて考える【本時】

第2時 「交響曲第5番」が今もなお愛される理由に迫る

5 本時の展開（第2時中第1時）

学習内容・活動	教師の指導・支援および留意点 評価と方法
<p>1. 今日学ぶ作曲家と曲を知る</p> <p>2. 本時の課題を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベートーヴェンの肖像画を出し、名前、代表作を挙げてもらう。</li> <li>S:「運命」「エリーゼのために」「第九」etc</li> <li>・ベートーヴェンの生涯について話す。</li> </ul>
<p>ベートーヴェンの曲はなぜ200年後の現在もこんなに有名なのだろう</p>	
<p>3. 冒頭部分を聴き、動機が何回出てくるか確認する。</p> <p>4. 動機の変化のしかたについて学ぶ。</p> <p>5. 他の芸術と比較する。</p> <p>6. 1楽章を通して聴く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21小節までを聴き、動機が何回出てくるか数えるよう伝える。</li> <li>・代表者に前に出てきてもらい、動機が聴こえたらホワイトボードに印を貼ってもらう。</li> <li>・動機がいくつも重なって全体を創り出していることに着目させる。</li> <li>・他に、同じものがいくつも重なってできているものはないか聞く。</li> <li>・楽譜を見せて、動機の形に着目させ、動機が平行移動や線対称になって出てくることを確認する。</li> <li>・同じように平行移動や線対称で作られているものはないか聞く。</li> <li>・雪の結晶や平等院などを提示し、共通点を探る。</li> <li>・動機の動きに着目し、1楽章を聴く。</li> </ul>
<p>「交響曲第5番」を形づくっている、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を受感しながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲に対する評価とその根拠を考え、「交響曲第5番」のよさや美しさを味わって聴いている。【思考・判断・表現】</p>	